

教科	農業	科目	農業と環境	単位数	4
学年	1年	教科書	農業と環境(実教出版)		
学科	特用林産科	副教材	タブレット端末		

学習目標	<p>①農業生物の育成と環境の保全についての体験的、探求的な学習を通して、農業及び環境に関する学習について興味・関心を高めます。</p> <p>②科学的思考力と問題解決能力を育成し、農業及び環境に関する基礎的な知識と技術を習得させ、農業の各分野で活躍する能力と態度を育てます。</p>
------	--

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 農業学習と学校農業クラブ 2 トウモロコシ・スイカ・その他果菜類の栽培プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト学習の方法、学校農業クラブ活動の目標、内容、組織、実践方法について学びます。 栽培プロジェクトを通して、栽培知識・技術を習得し、栽培プロジェクト学習を実践します。
2	3 ダイコン・ハクサイ・ブロッコリー(葉茎菜類・根菜類)の栽培プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 栽培プロジェクトを通して、栽培知識・技術を習得し、栽培から調理・加工、持続可能な農業生産、プロジェクト学習を実践します。
3	4 栽培の基礎 5 プロジェクト学習のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 作物の生理・生態的特性、栽培環境について学びます。 レポートを作成します。
課題	<p>①栽培した野菜とその活用方法のレポートを作成。</p> <p>②栽培している野菜の管理や生育調査。</p> <p>③「農業と環境」の授業と実習中に学んだ重要語句調べ。</p>	

評価の観点	趣 旨
I 関心・意欲・態度	作物の栽培やこれらを取り巻く環境に関心を持ち、それらの諸課題の解決・改善・向上について探求しようとしている。
II 思考・判断・表現	研究内容に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。
III 技能	栽培・加工に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、適切に選択して活用している。
IV 知識・理解	研究テーマに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、プロジェクト学習や調査・栽培などの目的や結果について理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「野帳の記録、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)

教科	農 業	科目	総合実習	単位数	1
学年	1 年	教科書	なし		
学科	特用林産科	副教材	iPad		

学習目標	① 夏野菜の栽培について体験学習します。
	② 秋野菜の栽培について体験学習します。
	③ 実習を通して実践的な能力と態度、安全に関する理解を深めます。
	④ 農業クラブ活動に参加し、科学性を身に付け、問題解決能力を養います。

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 オリエンテーション	総合実習の意義と方法を理解します。
	2 農具の使い方	農具を使って栽培畑の準備をします。
	3 夏野菜の栽培管理	各班で栽培管理を体験学習します。
2	4 秋野菜の栽培準備	農具を使って秋野菜の栽培準備をします。
	5 秋野菜の栽培管理	各班で栽培管理を体験学習します。
	6 秋野菜の加工準備	秋野菜の加工準備をします。
3	7 秋野菜の加工実習	大根の加工をします。
	8 実習のまとめ	1年間のまとめをします。
課題	① 長期休業中には、実習があります。 ② 夏野菜栽培の調査内容をレポートにまとめて提出します。	

評価の観点		趣 旨
I	関心・意欲・態度	各実習に関心を持ち、改善・向上を目指して意欲的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
II	思考・判断・表現	実習に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に適切に判断し表現する力を身に付けている。
III	技能	各実習に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、安全かつ適切に活用している。
IV	知識・理解	各実習に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、実習の意義や役割を理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、野帳の提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)	

教科	農業	科目	農業情報処理	単位数	2
学年	1年	教科書	農業情報処理(実教出版)		
学科	特用林産科	副教材	なし		

学習目標	①高度情報化社会における情報処理、意志決定の過程を理解します。 ②農業におけるコンピュータとネットワークの重要性を理解します。 ③情報の種類とその表現方法を理解します。
------	--

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 情報社会のモラル	<ul style="list-style-type: none"> 高度情報社会のモラルを守る心構えと安全への対応を身に付けます。
	2 情報の基礎	<ul style="list-style-type: none"> メディアとコンピュータについて理解し、情報の種類とその表現方法を身に付けます。 インターネットの概要を理解し、情報検索の方法に慣れます。
2	3 日本語ワードプロセッサの利用	<ul style="list-style-type: none"> 日本語ワードプロセッサの特徴と機能の理解を深め、利用方法を身に付けます。 案内文書を作成し、基本的な編集機能を使って見やすく、分かりやすい文書を完成します。
3	4 プレゼンテーションソフトウェアの利用	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションソフトウェアの特徴および機能を理解し、基本操作を身に付けます。 文字の入力方法や図形の作成方法を理解し、スライドを作成します。 スライドの修正方法について理解し、プレゼンテーションを実行します。
課題	①夏休み課題：演習プリントを使ってハードウェアとソフトウェアの概要を理解します。 ②冬休み課題：演習プリントを使って表計算ソフトウェアの基本操作に慣れます。	

評価の観点	内 容
I 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の課題に対して関心をもち、意欲的に取り組んでいる。 姿勢は正しく、学習態度は真面目である。
II 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 自らの判断で適切な処理方法を選択し、実行している。 見やすく分かりやすい表現方法に留意して、文章を完成している。
III 技能	<ul style="list-style-type: none"> キーボード操作による入力を適切に行っている。 入力の手速は進展している。
IV 知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータのしくみを正しく理解し、安全に使っている。 情報リテラシが身に付いた。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「課題やワークシート、ノートの提出状況」「定期考査・小テスト」「授業への取組」「出欠状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)

教 科	農 業	科 目	特用林産物概論	単位数	2
学 年	1 年	教科書	自作教材		
学 科	特用林産科	副教材	なし		

学習目標	① 特用林産物の主な特徴と生産について理解します。 ② 身近なところに特用林産物があることを理解します。
------	---

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 特用林産物とは	<ul style="list-style-type: none"> ・森林から生産される用材以外のものに関心を向けて理解します。 ・山菜の名称と分類や保存方法を理解します。 ・キノコの特徴や生活環、生産状況を理解します。
	2 山菜	
	3 キノコ	
2	4 樹実類	<ul style="list-style-type: none"> ・樹実類の種類について理解し、ゆずの加工実習を行い、特産品の開発を考えます。 ・竹の特徴や種類を理解し、竹ほうき作りをとおしてその技術を理解します。 ・和紙の工程や原料による違いについて理解します。
	5 竹の活用	
	6 和紙	
3	7 木炭	<ul style="list-style-type: none"> ・竹製品と竹文化を理解し、その製造原理と方法について考えます。 ・白炭と黒炭の特性を理解します。 ・鑑賞炭づくりを体験します。
課題	① ノートのまとめ提出します。 ② 夏休み課題レポートを提出します。 ③ 冬休み課題レポートを提出します。	

評価の観点	趣 旨
I 関心・意欲・態度	・特用林産物の学習に積極的に取り組み、興味・関心を深めている。
II 思考・判断・表現	・それぞれの特用林産物の名称と活用方法が理解でき、応用できる。
III 技能	・竹の加工作業が適切に行動できる。
IV 知識・理解	・特用林産物の名称と活用方法に関する必要な知識を理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「ノート・課題の提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。 (100点法)

教科	農 業	科目	総合実習	単位数	3
学年	2 年	教科書	なし		
学科	特用林産科	副教材	なし		

学習目標	①菌床・林産加工・特用林産物・森林科学班をローテーションで体験します。
	②特用林産物に関する生産や加工に必要な知識と技術を学習します。
	③実習を通して実践的な能力と態度、安全に関する理解を深めます。
	④農業クラブ活動に参加し、科学性を身に付け、問題解決能力を養います。

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 オリエンテーション	総合実習の意義と方法を理解します。
	2 1回目のローテーション	主に各場所の施設や器具について学習します。
	3 2回目のローテーション	各班で生産活動の段取り力を学習します。
2	4 3回目のローテーション	各班で生産や調査活動を行います。
	5 4回目のローテーション	各班で生産や調査活動を行います。
	6 5回目のローテーション	各班で活動のまとめと専攻班分けを行います。
3	7 専攻実習	各専攻班に分かれ今後の活動計画を立てます。
	8 学習のまとめと次年度の計画	各専攻班の活動計画のもと、準備や活動を行います。
課題	①長期休業中には、実習があります。 ②特用林産物に関する調査を様々な媒体を使って調査し、その内容をレポートにまとめて提出します。	

評価の観点		趣 旨
I	関心・意欲・態度	各実習に関心を持ち、改善・向上を目指して意欲的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
II	思考・判断・表現	実習に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に適切に判断し表現する力を身に付けている。
III	技能	各実習に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、安全かつ適切に活用している。
IV	知識・理解	各実習に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、実習の意義や役割を理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノート」の提出状況「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。(100点法)	

教科	農業	科目	農業情報処理	単位数	2
学年	2年	教科書	農業情報処理（実教出版）		
学科	特用林産科	副教材	なし		

学習目標	①コンピュータの基本的な操作を身に付けます。 ②情報モラル、ネチケツトを身に付けます。 ③簡単なWebページが作成できる知識と技術を身に付けます。
------	---

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 情報の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの基本的なしくみや活用方法を学習します。 ・インターネットや様々な媒体を利用した情報収集や活用方法を学びます。
	2 コンピュータによる情報の活用	
2	3 表計算ソフトウェアの利用	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトウェアの特徴と機能を理解し、利用方法を身に付けます。 ・計算式の入力方法を覚え、表を編集します。 ・基本的な関数を利用して計算を行い、データの意味を理解します。 ・表からグラフを作成し、グラフの種類と特徴を理解します。
	4 Webページの作成	
3		<ul style="list-style-type: none"> ・Webページの作成を行い、アルゴリズムを学習します。
課題	② インターネットや様々な媒体を活用した調べ学習を行います。 ②簡単なWebページ作成します。	

評価の観点	趣 旨
I 関心・意欲・態度	・農業と情報技術との関わりや、自らの課題に対して関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。
II 思考・判断・表現	・自らの判断で情報を適切に処理し、基礎的な知識と技術を基に合理的に表現する力を身に付けている。
III 技能	・パソコンやアプリケーションソフトの操作能力をはじめ、情報の収集・分析などの基礎的な技術を身に付けている。
IV 知識・理解	・情報機器や情報通信ネットワークなどを活用して、効果的に利用する方法を理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やファイルの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。 (100点法)

教科	農 業	科目	林産物利用	単位数	3
学年	2 年	教科書	林産物利用（実教）		
学科	特用林産科	副教材	iPad		

学習目標	①林産物の加工、利用に必要な知識と技術を習得します。
	②林産物の特性を理解します。
	③林産物の多様な利用を図る能力と態度を育てます。

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 森林資源の循環利用と林業・林産業	<ul style="list-style-type: none"> ・化石資源・鉱物資源の枯渇問題を理解します。 ・木材の有効利用に関心を持ち、二酸化炭素の固定を理解し、林産業の現状と課題・動向を理解します。 ・手鋸の技術やスコヤの使い方を理解し、正確に墨を入れ、角のみの技術を身に付けます。
2	2 木材の性質と用途 3 製材と木材の工作①	<ul style="list-style-type: none"> ・針や広葉樹の構造を理解し、木材の実質的な特性を理解します。 ・木材の物理的、化学的性質を理解し、木材の用途と特性との関係を理解します。 ・組木の種類や構造を理解し、加工する技術を研く。図面を読み取る力を育てます。
3	4 製材と木材の工作②	<ul style="list-style-type: none"> ・乾燥の必要性を理解し、保存方法と木工の工作方法を理解します。 ・合理的な加工を考え、正確に加工します。 ・一人一人が考えた加工をします。 ・正確な接着を心がけ、塗装の技術を高めます。
課題	①定期考査後の訂正をして提出。 ②製作課題を確実に提出。	

評価の観点		趣 旨
I	関心・意欲・態度	林産物利用に関する諸問題について興味・関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
II	思考・判断・表現	林産物利用に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、林産物利用に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
III	技能	林産物利用の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、林産物利用に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
IV	知識・理解	林産物利用に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、林産物利用の意義や役割を理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。 (100点法)	

教科	農業	科目	森林科学	単位数	2
学年	2年	教科書	森林科学（文部科学省）		
学科	特用林産科	副教材	PC端末		

学習目標	③ 森林の多面的機能や森林の生態について知識を習得します。 ④ 樹木の特徴について理解します。 ⑤ 育苗と造林技術に対する能力と態度を身に付けます。
------	--

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 森林の多面的機能	<ul style="list-style-type: none"> ・国土の保全・水源涵養・保健休養地・木材生産の機能を理解します。 ・日本の森林帯の特徴を理解します。 ・石鎚山の森林帯について理解します。
	2 樹木と森林帯	
	3 石鎚山の森林帯	
2	4 樹木の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・広葉樹の形態と特徴について理解します。 ・気候因子・生物因子・土地因子について考え、理解します。
	5 森林の生態系	
3	6 育苗と造林	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の更新意義を理解し、その方法について考えます。 ・造林樹種の特性と施業による持続可能性を考えます。
課題	① ノートのまとめ提出します。 ② 夏休み課題プリント3枚を提出します。 ③ 冬休み課題プリント2枚提出します。	

評価の観点	趣旨
I 関心・意欲・態度	・森林の機能や生態系に積極的に取り組み、森林に対して関心を深める。
II 思考・判断・表現	・森林を構成する樹木の特徴や名称が理解でき、適切に観察・記録ができている。
III 技能	・樹木観察の準備や作業内容を理解して適切に取り組んでいる。
IV 知識・理解	・森林の機能・生態に関する必要な知識を理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「ノート・課題の提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。 (100点法)

教科	農業	科目	食用キノコ栽培	単位数	2
学年	2年	教科書	キノコ栽培全科（農文協）		
学科	特用林産科	副教材	タブレット端末		

学習目標	①木材腐朽菌を中心とした菌類の生態と自然界における働きについて学びます。 ②原木シイタケの植菌から収穫まで、基本的な栽培・管理技術について学びます。 ③環境浄化や工業分野で用いられるきのこの新たな利用方法について学びます。
------	---

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 きのことは	<ul style="list-style-type: none"> きのこの形態的特性と部位の名称、ライフサイクルについて学習します。 菌糸の観察を行います。 生態系における分解者としての役割を学びます。 栄養摂取による分類方法について学習します。 きのこの種類と利用法について学習します。
2	2 原木の調達方法 3 きのこと栽培の実際	<ul style="list-style-type: none"> きのこ栽培に利用可能な原木について学習するために樹木観察を行います。 原木の調達方法について学習し、伐採から玉切りまでの作業を行います。 シイタケの特徴と栽培方法について学習し、植菌から収穫までの作業を行います。
3	4 きのこと食のすすめ	<ul style="list-style-type: none"> きのこの栄養素と機能性について学習します。 食味調査を通して、うま味成分であるグアニル酸の存在を確認します。
課題	①夏休みの課題…樹木観察のスケッチを提出。 ②冬休みの課題…きのこ観察を行い、レポートを提出。	

評価の観点	内容
I 関心・意欲・態度	きのこや菌類の世界に興味・関心を持ち、意欲的に学習する態度が見られる。
II 思考・判断・表現	要点を押さえて実験や実習に取り組む中で、特徴を捉えてスケッチや記録を残すことができている。
III 技能	植菌や伏せ込みなど、きのこ栽培に必要な技術が身に付いている。
IV 知識・理解	きのこに関する基本的な知識を身に付け、栽培や利用に関して正しく理解できている。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。 (100点法)

教科	農 業	科目	課題研究	単位数	2
学年	3 年	教科書	なし		
学科	特用林産科	副教材	iPad		

学習目標	①農業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術を習得します。
	②問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てます。

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	プロジェクト学習 1 年間計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマ、研究方法について年間計画を作成し、学習方法を学びます。 ・各テーマに沿った研究を進め、専門教科の深化を図ります。
	2 プロジェクト学習の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・研究の科学的な見方と実践力を身に付けます。
2	3 農業祭における展示	<ul style="list-style-type: none"> ・評価方法を検討し、課題を見極めます。 ・研究成果を分かりやすく展示するための展示内容や展示方法について創造的に考えます。
	4 研究成果発表会準備	<ul style="list-style-type: none"> ・農業祭の準備や作品制作に自発的に取り組みます。 ・活動内容を精査し、テーマに沿った研究が進められているか、まとめる力を身に付けます。
3	5 課題レポートの作成	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の機会を通して学習内容の深化や総合化を図ります。 ・活動内容の評価・反省、今後の課題について専門的な知識・技術の向上を図るための方策についてレポートにまとめます。
課題	①事前準備として毎回テーマに沿った活動内容の計画書を作成し提出します。 ②家庭学習期間において担当顧問の指導を受けながら各テーマに沿った課題研究レポートを作成し提出します。	

	評価の観点	趣 旨
I	関心・意欲・態度	自ら設定した課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
II	思考・判断・表現	課題解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、適切に判断し表現する能力を身に付けている。
III	技能	研究を進めるに当たり、基礎的・基本的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。
IV	知識・理解	研究内容の基礎的・基本的な知識を身に付け、農業の意義や役割を理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。 (100点法)	

教科	農 業	科目	総合実習	単位数	5
学年	3 年	教科書	なし		
学科	特用林産科	副教材	iPad		

学習目標	①農業における生産活動や課題について実践的な体験活動を通して、専門的な知識と技術を身に付けます。
	②積極的に行動し、毎回の記録活動を大切にする学習態度を育てます。

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	プロジェクト学習と生産活動	<ul style="list-style-type: none"> 各専攻にて学習テーマ、学習方法について年間計画を作成し、学習方法を学びます。 各テーマに沿った研究を進め、専門教科の深化を図ります。 研究の科学的な見方と実践力を身に付けます。
	1 年間計画の作成 2 プロジェクト学習や生産活動の実施	
2	3 生産活動	<ul style="list-style-type: none"> 生産や製作活動を通して実践力を身に付けます。 活動成果を分かりやすく展示するための展示内容や展示方法について創造的に考えます。 農業祭の準備・作品制作に自発的に取り組みます。
	4 農業祭における展示や販売	
3	5 レポートの作成	<ul style="list-style-type: none"> まとめる機会を通して学習内容の深化・総合化を図ります。 活動内容の評価・反省、今後の課題について専門的な知識・技術の向上を図るための方策についてレポートにまとめます。
課題	①長期休業中に実習があります。 ②毎回の活動を記録し、担当顧問の指導を受けながら各テーマに沿ったレポートを作成し提出します。	

評価の観点		趣 旨
I	関心・意欲・態度	生産活動やプロジェクト活動に関心を持ち、主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
II	思考・判断・表現	課題解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、適切に判断し表現する能力を身に付けている。
III	技能	実習を進めるに当たり、基礎的・基本的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。
IV	知識・理解	実習内容の基礎的・基本的な知識を身に付け、農業の意義や役割を理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。 (100点法)	

教科	農 業	科目	林産物利用	単位数	2
学年	3 年	教科書	林産物利用（実教）		
学科	特用林産科	副教材	iPad		

学習目標	①林産物の加工、利用に必要な知識と技術を習得させる。
	②林産物の特性を理解させる。
	③林産物の多様な利用を図る能力と態度を育てる。

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 木材の加工と利用	<ul style="list-style-type: none"> ・合板と集成材の接着法を理解する。 ・手鋸の技術やスコヤの使い方を理解し、正確に墨を入れ、ほぞ加工の技術を身につける。 ・現場あわせの大切さを理解する。
2	2 木材の加工	<ul style="list-style-type: none"> ・各自に課題を持たせて、加工組み立てをする。 ・接着の技術を高める。 ・塗装の技術を高める。 ・加工する技術を研ぎ、図面を読み取る力を育てる。 ・チェーンソーの仕組みを理解する。
3	3 木材加工の仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・合理的な加工を考え、正確に加工する。 ・一人一人が考えて加工をする。 ・課題製作をする。 ・草刈り機の仕組みを理解する。 ・加工の機械の安全な操作を理解する。 ・加工の機械のメンテナンスができる。
課題	①定期考査後の訂正をして提出する。 ②製作課題を確実に提出する。	

評価の観点		趣 旨
I	関心・意欲・態度	林産物利用に関する諸問題について興味・関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
II	思考・判断・表現	林産物利用に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、林産物利用に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
III	技能	林産物利用の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、林産物利用に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
IV	知識・理解	林産物利用に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、林産物利用の意義や役割を理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。 (100点法)	

教科	農業	科目	森林科学	単位数	2
学年	3年	教科書	森林科学（実教出版）		
学科	特用林産科	副教材	タブレット端末		

学習目標	① 人工林に必要な育苗と造林について知識と技術を習得します。 ② 苗木の育苗と造林技術に対する能力と態度を身に付けます。 ③ 樹木名を覚えるとともに森林の管理技術に対する能力と態度を身に付けます。
------	--

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 林木の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の育成方法の特徴とそれらに適応した森林管理の方法を理解します。 ・種子や挿し木苗による植え付け造林について理解します。 ・植林後の保育作業を理解します。 ・暖温帯林に生育する樹木名や特徴を理解します。
	2 育苗と造林	
2	3 森林の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・下刈り・ツル切りの必要性和方法について理解します。 ・枝打ちの必要性和方法を理解し、道具の使い方などを学習します。 ・間伐作業の必要性を考え、方法を理解します。 ・伐採方法について理解します。
3	4 木材業	<ul style="list-style-type: none"> ・林業が抱える諸問題と木材業が不審な理由を考えます。
課題	① ノートのまとめを提出します。 ② 夏休み課題プリント3枚を提出します。 ③ 冬休み課題プリント2枚提出します。	

評価の観点	趣 旨
I 関心・意欲・態度	・森林の育成や森林管理について積極的に取り組み、森林に対して関心を深めている。
II 思考・判断・表現	・森林管理について適期に作業が判断でき、必要な道具が分かる。
III 技能	・森林管理の様々な道具を理解して適切に使うことができる。
IV 知識・理解	・森林の育成のための管理技術の必要性和方法を理解している。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「ノート・課題の提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。 (100点法)

教 科	農 業	科 目	森林経営	単位数	3
学 年	3 年	教科書	森林経営（実教出版）		
学 科	特用林産科	副教材	なし		

学習目標	①森林経営における測定、計画と管理に必要な知識と技術を習得します。 ②森林の機能と評価の意義を理解させ、森林を経営する能力と態度を身に付けます。
------	---

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 森林と経営	・世界の樹木名を理解します。
	2 森林の機能	・森林資源の内容について理解します。 ・林産物の種類と生産機能について理解します。
	3 森林の測定と評価	・胸高直径の求め方を習得します。森の大きさを調査します。
2	4 森林の機能と評価	・林産物の生産機能評価を理解します。
	5 森林経営の計画	・森林の経営方法について考えます。森林の施業計画について考えます。
	6 特用林産物の利用計画	・特用林産物の利用方法について考えます。
3	7 森林の管理	・林業の役割を考えます。森林施業による持続可能性を考えます。
課題	①ノートのとまとめ提出します。 ②夏休み課題プリントを提出します。 ③冬休み課題プリント提出します。 ④レポートの提出します	

評価の観点	趣 旨
I 関心・意欲・態度	・森林の測定実習に積極的に取り組み、森林管理の役割に対して関心を深める。
II 思考・判断・表現	・森林の内の樹木特徴や調査手順が理解でき、適切に調査・記録・観察ができています。
III 技能	・胸高直径を計測するのに必要な輪尺の測定方法ができています。
IV 知識・理解	・森林管理に必要な立木調査の方法を理解し、成長量の求め方が理解できている。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やファイルの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。 (100点法)

教科	農業	科目	グリーンライフ	単位数	2
学年	3年	教科書	グリーンライフ（実教出版）		
学科	特用林産科	副教材	タブレット端末		

学習目標	①農業・農村や生活文化について興味・関心を持ち、意欲的に学習します。 ②農業・農村の持つ働きを理解します。 ③農産物や林産物の利用に関する技術を身に付けます
------	--

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 グリーンライフの世界	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフスタイルの変化とグリーンライフの関連性を理解します。 ・社会の変化と交流・余暇活動の動向を理解します。
2	2 農業・農村の機能の発見と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・農業・農村の魅力を探るとともに、身近なものを通して、自然を感じる体験をします。 ・農業・農村の持つ物理的・社会的機能について学び、自然と人間生活とのつながりを理解します。 ・農村文化や年中行事を通して、竹細工や木工、特産的作物を利用した加工の技術を身に付けます。
3	3 グリーン・ツーリズム	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン・ツーリズムの特徴を理解します。 ・グリーン・ツーリズムにおける取り組みと効果を理解します。
課題	①夏休みの課題…年中行事に関するレポートや課題を提出する。 ②冬休みの課題…グリーン・ツーリズムの取り組みを調査し、レポートを提出する。	

評価の観点	内容
I 関心・意欲・態度	農業・農村や生活文化について興味・関心を持ち、意欲的に学習する態度が身に付いている。
II 思考・判断・表現	農業・農村の魅力や働きを理解して、実験や実習に積極的に取り組み、過程や結果を適切に記録として残すことができる。
III 技能	農産物や林産物の利用に必要な技術を身に付いている。
IV 知識・理解	農業・農村や生活文化に関する基本的な知識を身に付け、活用の必要性について正しく理解できている。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。 (100点法)

教科	農業	科目	食用キノコ栽培	単位数	2
学年	3年	教科書	キノコ栽培全科（農文協）		
学科	特用林産科	副教材	iPad		

学習目標	①ヒラタケの特徴と性質について学びます。 ②ヒラタケの菌床栽培について、種菌の培養から収穫までの作業を習得します。 ③環境浄化や工業分野で用いられる、キノコの新たな利用法を学びます。
------	---

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 ヒラタケとは 2 ヒラタケの栽培方法	<ul style="list-style-type: none"> ヒラタケの特徴と機能性について学習します。 ライフサイクルの各段階において、菌糸の観察を行います。 ヒラタケの栽培方法について理解します。
2	3 PPビンによる菌床栽培	<ul style="list-style-type: none"> PPビンを使用した菌床栽培の特徴と栽培方法を理解します。 種菌の培養と無菌操作について理解します。 培地の調製から接種、管理、収穫まで、ヒラタケ栽培に関する一連の栽培技術を身に付けます。
3	4 キノコの利用法	<ul style="list-style-type: none"> きのこの栄養素と機能性について学習します。 食味調査を通して、うま味成分であるグアニル酸の存在を確認します。
課題	①夏休みの課題…樹木観察のスケッチを提出。 ②冬休みの課題…きのこ観察のレポートを提出。	

評価の観点	内容
I 関心・意欲・態度	きのこや菌類の世界に興味・関心を持ち、意欲的に学習する態度が見られる。
II 思考・判断・表現	要点を押さえて実験や実習に取り組み、特徴を捉えてスケッチや記録を残すことができている。
III 技能	植菌や伏せ込みなど、きのこ栽培に必要な技術を身に付いている。
IV 知識・理解	きのこに関する基本的な知識を身に付け、栽培や利用に関して正しく理解できている。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価します。 (100点法)